



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月12日

上場会社名 小野建株式会社

上場取引所 東 福

コード番号 7414 URL <http://www.onoken.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小野 建

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括本部長

(氏名) 小野 信介

TEL 093-561-0036

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日

平成26年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	89,481	16.8	1,722	△19.3	1,793	△19.4	1,187	△14.4
26年3月期第2四半期	76,634	10.3	2,134	70.0	2,225	67.3	1,387	76.3

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 1,387百万円 (△2.0%) 26年3月期第2四半期 1,416百万円 (93.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	57.28	50.05
26年3月期第2四半期	66.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	126,179		53,018			42.0
26年3月期	119,207		52,255			43.7

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 53,018百万円 26年3月期 52,138百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	18.00	—	22.00	40.00
27年3月期	—	15.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	188,282	5.4	3,482	△27.1	3,602	△27.7	2,349	△37.5	113.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	21,244,830 株	26年3月期	21,244,830 株
27年3月期2Q	519,050 株	26年3月期	519,050 株
27年3月期2Q	20,725,780 株	26年3月期2Q	20,725,845 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益・雇用情勢の改善が進む一方、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動、外需の伸び悩みなどから、不透明な状況で推移いたしました。

このような環境の中、当社グループにおきましては、従来からの基本戦略である「販売エリアの拡大」と「販売シェアの向上」の一環として、5月に沖縄県沖縄市に小野建沖縄中部センター、7月に群馬県高崎市に小野建高崎センターが竣工いたしました。その他、兵庫県姫路市、大阪府堺市、茨城県神栖市、愛媛県松山市での新倉庫の建設計画は順調に進んでおります。業績につきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前期に対して鋼材市況の上昇と販売数量の増加により894億81百万円（前年同期比16.8%増）となりました。損益面におきましては、在庫単価が高止まりしている中、販売価格への転嫁が難航し、在庫販売における利益率が低下したことにより営業利益17億22百万円（前年同期比19.3%減）、経常利益17億93百万円（前年同期比19.4%減）、四半期純利益11億87百万円（前年同期比14.4%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①九州・中国エリア

前期に対し、鋼材市況の上昇と販売数量の増加ならびに大型工事の完成により売上高は増加いたしました。利益につきましては利益率の低下により減少いたしました。その結果、外部顧客への売上高は465億47百万円（前年同期比12.5%増）セグメント利益は11億64百万円（前年同期比3.0%減）となりました。

②関西・中京エリア

前期に対し鋼材市況の上昇と建築・建材部門の受注が好調に推移し、鋼材販売数量ならびに完成工事高が増加したため、売上高は増加いたしました。利益につきましては利益率の低下により減少いたしました。その結果、外部顧客への売上高は233億89百万円（前年同期比26.9%増）セグメント利益は2億58百万円（前年同期比37.2%減）となりました。

③関東・東北エリア

前期に対し東北エリアでの土木部門や関東エリアでの建築・建材部門の受注が好調に推移し、鋼材販売数量の増加と鋼材市況の上昇ならびに完成工事高が増加したため、売上高は増加いたしました。利益につきましては利益率の低下により減少いたしました。その結果、外部顧客への売上高は195億45百万円（前年同期比16.2%増）セグメント利益は3億4百万円（前年同期比45.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

前連結会計年度末比69億71百万円増加し、1,261億79百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金は減少したものの、商品及び製品ならびに新倉庫建設の建設仮勘定が増加したことによるものです。

(負債の部)

前連結会計年度末比62億9百万円増加し731億61百万円となりました。主な要因は、買掛金は減少したものの設備投資ならびに運転資金の増加に伴う短期借入金が増加したことによるものです。

(純資産の部)

前連結会計年度末比7億62百万円増加し530億18百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの主要販売商品であります鉄鋼商品の市況の動向や販売状況を鑑み、平成26年11月7日に第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想の修正を発表いたしました。

詳細につきましては、平成26年11月7日に公表いたしました「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法について、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間および支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が69百万円増加し、利益剰余金が44百万円減少しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に対する影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,424	2,911
受取手形及び売掛金	60,555	54,993
商品及び製品	15,109	19,763
原材料及び貯蔵品	997	1,247
その他	3,698	6,995
貸倒引当金	△181	△166
流動資産合計	82,604	85,745
固定資産		
有形固定資産		
土地	24,846	25,678
その他(純額)	10,057	12,904
有形固定資産合計	34,904	38,583
無形固定資産		
のれん	17	12
その他	51	120
無形固定資産合計	68	132
投資その他の資産		
その他	1,825	1,979
貸倒引当金	△196	△261
投資その他の資産合計	1,629	1,718
固定資産合計	36,603	40,434
資産合計	119,207	126,179
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	35,925	31,208
短期借入金	19,800	30,223
1年内返済予定の長期借入金	16	4
未払法人税等	1,610	748
賞与引当金	866	894
役員賞与引当金	96	-
工事損失引当金	104	104
その他	2,095	3,434
流動負債合計	60,513	66,618
固定負債		
社債	5,024	5,021
役員退職慰労引当金	423	437
退職給付に係る負債	600	686
資産除去債務	57	57
その他	332	339
固定負債合計	6,438	6,542
負債合計	66,952	73,161

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,780	3,780
資本剰余金	3,509	3,509
利益剰余金	45,172	45,859
自己株式	△602	△602
株主資本合計	51,859	52,545
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	263	366
繰延ヘッジ損益	13	104
退職給付に係る調整累計額	2	1
その他の包括利益累計額合計	278	472
少数株主持分	117	0
純資産合計	52,255	53,018
負債純資産合計	119,207	126,179

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	76,634	89,481
売上原価	70,299	83,176
売上総利益	6,335	6,304
販売費及び一般管理費	4,200	4,582
営業利益	2,134	1,722
営業外収益		
受取利息	0	3
仕入割引	52	60
その他	75	71
営業外収益合計	128	134
営業外費用		
支払利息	11	24
売上割引	24	32
その他	0	6
営業外費用合計	36	64
経常利益	2,225	1,793
特別利益		
固定資産売却益	96	170
特別利益合計	96	170
特別損失		
役員退職慰労金	-	17
訴訟和解金	-	65
その他	18	2
特別損失合計	18	84
税金等調整前四半期純利益	2,303	1,878
法人税等	905	683
少数株主損益調整前四半期純利益	1,398	1,194
少数株主利益	10	7
四半期純利益	1,387	1,187

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,398	1,194
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35	103
繰延ヘッジ損益	△16	91
退職給付に係る調整額	—	△1
その他の包括利益合計	18	193
四半期包括利益	1,416	1,387
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,405	1,380
少数株主に係る四半期包括利益	11	7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。